

令和2年度

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団
決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

目 次

令和 2 年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

I 概要	1
II 事業実施状況	1
III 組織運営状況	12
IV 附属明細書の作成について	15

令和 2 年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算報告書

I 貸借対照表	16
II 正味財産増減計算書	17
III 正味財産増減計算書内訳表	19
IV 財務諸表に対する注記	21
V 附属明細書	23
VI 財産目録	24

監査報告書

令和2年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

I 概要

近年増加傾向にあった鹿児島市の在住外国人数は、令和2年度はほぼ横ばいとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものと考えられ、今後の増減は見通せませんが、3千人を超える外国人が居住している状況は変わっていません。

本財団は、令和2年度から、鹿児島市国際交流センターの指定管理者となりました。効果的かつ効率的な管理運営に努めるとともに、これまでの実績や経験を活かしながら、多様な企画・事業を展開し、鹿児島市の国際交流を推進しました。

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す中で、中止や規模の縮小を余儀なくされた事業もありましたが、定款に定める「国際交流の推進」、「国際理解の推進」、「国際協力の推進」、「多文化共生の地域づくりの推進」、「鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業」にかかる各種事業に、賛助会員や多くのボランティアにも参加いただき、積極的に取り組みました。また、日本語支援の拡充や、新たに調理室・和室を活用した事業を実施するなど、事業の多様化や拡充を図ることができました。

主な事業実施状況は、以下のとおりです。

II 事業実施状況

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

① 在住外国人との歓迎交流会

新入在住外国人の歓迎や県国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会を開催しました。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響で留学生の来日が遅れたため、実施時期を4月から2月に変更)

行事名	開催日	内容	参加者数
ハーティーパーティー	2月28日	新入外国人・留学生の歓迎交流会	119名(外国人65名)

② 市民と在住外国人との1日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
国際交流探訪バスツアー	12月13日	桜島ビジターセンター、有村展望所、黒神埋没鳥居	37名(外国人16名)

③ 在住外国人ホームビジット

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度は中止しました。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

① かごしまアジア青少年芸術祭

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度は中止となりましたが、マレーシアとミャンマーの前年度参加学校とオンラインでの交流会を実施しました。

国名（学校名）	開催日	内容	参加者数
マレーシア（セントフランシス学園）	10月17日	マレーシアと日本の学生による、両国の文化紹介や踊りの披露等のオンライン交流会	49名（マレーシア学生 24名）
ミャンマー（エヤワジーインターナショナルスクール）	10月24日	ミャンマーと日本の学生による、両国の文化紹介や踊りの披露等のオンライン交流会	27名（ミャンマー学生 12名）

(3) 国際交流人材の育成事業

① ボランティア勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ボランティア勉強会「料理ボランティア勉強会」	8月8日	調理室活用事業のボランティアを対象にした講習と意見交換会	7名
出前講座「ボランティア入門講座～国際交流編～」	12月16日	鹿児島でできる国際交流ボランティアについての講話（場所：市民福祉プラザ）	19名

② 運営ボランティアの活用

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、運営に協力してもらうとともに、経験豊富なボランティアに運営の一部を担っていただく体制を構築するための意見交換を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
運営ボランティアミーティング	3月23日	複数の活動に参加しているボランティアと財団による、これからの運営体制に関する意見交換会	3名

③ 国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会（事業実施委員会）を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
第1回 事業実施委員会	6月9日	元年度事業報告・2年度事業計画の説明及び協力体制協議等	書面開催
第2回 事業実施委員会	9月16日	2年度上半期事業報告・2年度下半期事業計画の説明及び次年度の協力体制協議等	21団体 21名

④ 登録団体交流会【新規事業】

鹿児島市国際交流センターの登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換のための交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
登録団体交流会	8月29日	国際交流センターの登録団体を対象にした交流会（活動内容発表・意見交換）	17団体 26名

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

① 異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き、外国語を介した体験型講座を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
インターナショナルカレッジ①	8月23日	在住外国人の講師による英語のみでの授業	52名
インターナショナルカレッジ②	1月17日	在住外国人の講師によるアフリカの打楽器（ジャンベ）とスペインのフラメンコのリズムについての体験授業	39名
世界各国のアフリカ系文化紹介	2月6・13・20日	アフリカ系文化を背景に持つ在住外国人を講師とした、様々な切り口からの文化紹介イベント	延べ95名（全3回）

② 国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（CIR）などによる企画イベントを開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
韓国語講座（初級）	5～6月 全6回	韓国出身 CIR による韓国語講座	16～21名
料理から学ぶ韓国文化理解教室	8月30日	韓国出身 CIR による料理と文化紹介	20名

中国文化・語学講座	10～11月 全8回	中国出身講師による文化と語学講座	13～15名
韓国語講座（中級）	11～12月 全6回	韓国出身 CIR による韓国語講座（中級）	19～28名
英語で学ぶ！Australia Day	1月26日	オーストラリア出身 CIR による文化紹介やオンラインでの現地との交流	23名
オーストラリア文化・語学講座	1～3月 全6回	オーストラリア出身 CIR による文化と語学講座	16～22名

③ 異文化紹介イベント

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度は中止となりました。

④ 絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語による絵本の読み聞かせ講座を開催し、外国語に触れる機会を提供しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
親子で楽しむ国際交流教室	9月22日	ベトナム人・カナダ人講師による自国紹介、絵本読み聞かせやゲーム活動（子ども同士の異文化交流会と同時開催）	25名
お月見ナイト	9月27日	英語教師による英語絵本の読み聞かせとお月見交流会（子ども同士の異文化交流会と同時開催） 共催：市立科学館	39名
親子でわくわくクリスマス	12月5日	3名の外国人講師による英語絵本読み聞かせやゲーム活動等	33名

⑤ 「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業【新規事業】

アジアへの理解を深め交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなどアジアに特化した事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
韓国文化理解教室	6月28日	韓国の伝統衣装等を介した文化の紹介	40名
留学生に学ぶインドネシア文化理解教室	8月22日	インドネシアの文化・民族衣装の紹介、民族楽器アングルの演奏会	21名

⑥ 和室活用事業【新規事業】

在住外国人に日本文化を理解してもらうことを目的として、和室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
七夕書道教室	7月4日	書道教室と七夕飾り作り	外国人12名
浴衣で日本舞踊を学ぼう	8月22日	浴衣着付けと、日本舞踊体験講座（地域との連携事業との同時開催）	外国人9名
茶道教室	11月21日	茶道の実体験講座	外国人10名

⑦ 調理室活用事業【新規事業】

食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、調理室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
世界の台所①	6月14日（午前と午後で2回開催）	在住外国人を対象にした豆腐作りと食文化紹介	外国人21名
世界の台所②	9月27日	外国人講師による南アフリカ料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所③	10月25日	外国人講師によるタイ料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所④	11月15日	外国人講師によるメキシコ料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所⑤	12月13日	外国人講師によるイタリア料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所⑥	2月14日	外国人講師によるパキスタン料理作りと文化等紹介	10名

(2) 外国人の国際理解促進事業

① 日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本の文化や実際に生活する鹿児島県の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
日本文化・郷土文化理解促進イベント	10月11日	①慈眼寺公園でのそうめん流し体験 ②ふるさと考古歴史館での勾玉作り体験	外国人19名

(3) 広報、情報発信の充実

① 多言語による情報の発信

外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）の企画・編集により、時宜を得た旬の情報「Kinko Bay Tidings」を多言語（英語、韓国語、中国語）でホームページに掲載しました。

② ホームページでの多言語情報の提供

ホームページを作成し、当財団の事業や各団体の情報等を多言語で発信しました。また、各種イベント情報をフェイスブックに適宜掲載するなど、積極的に情報発信を行いました。

③ 各種イベントへの協力・広報活動

他団体が実施するイベントへの協力及び展示物の出展や、各種メディアを活用した積極的な情報提供など広報活動に努めました。（サンエールフェスタ、テレビ・ラジオ番組出演、市広報紙・新聞・タウン誌等への情報掲載）

④ 広報誌（K I E X なび）の発行

会報誌を年4回（4・7・10・1月、各3千部）発行し、当財団会員・関係団体・公共施設等に配付し、情報発信に努めました。

3 国際協力の推進

(1) 国際協力活動事業

① 国際協力講演会及び青年海外協力隊員報告会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
国際協力講演会&青年海外協力隊員報告会	12月6日	①ペシャワール会、藤田千代子氏の講演「アフガニスタンに命の水を～中村哲医師・PMSと共に～」 ②青年海外協力隊員活動報告会 共催：鹿児島県青年海外協力隊を支援する会・青年海外協力隊鹿児島県OB会・独立行政法人国際協力機構九州センター	116名

追悼 中村哲医師 DVD 上映&写真展	11月28日～ 12月6日	国際交流センター交流ラウンジにおいて、約80枚の写真展示とDVD上映	来場者延べ 約430名
------------------------	------------------	------------------------------------	----------------

② 国際協力体験イベント

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（JICA）等と連携し体験型講座を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
知ろう！学ぼう！ オンライン国際協力セミナー	2月27日	学生（中学生～大学生）を対象にした国際協力に関するワークショップ（オンライン） 共催：JICA デスク鹿児島・ 鹿児島ユニセフ協会	8名

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

① 在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
交通安全教室	9月25日	交通ルール、自転車点検、事故現場を見たときの対応等に関する講座（場所：かごしま県民交流センター）	外国人74名
外国人住民のための一日無料相談会&研修会①	11月8日	就労・起業・在留資格等をテーマにした相談会と研修会（外国人相談事業と同時開催）	外国人19名
外国人住民のための一日無料相談会&研修会・懇親会②	2月14日	子育てをテーマにした相談会、研修会と懇親会（外国人相談事業と同時開催）	外国人8名

② 在住外国人のための防災意識啓発活動

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識を啓発することを目的として講話を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
いのちを守る勉強会（防災講話）	4月23日	鹿児島大学留学生を対象とした防災講座（オンライン）	外国人29名

③ 子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、さまざまな国籍の子どもと一緒に楽しめる交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
親子で楽しむ国際交流教室(再掲)	9月22日	ベトナム人・カナダ人講師による自国紹介、絵本読み聞かせやゲーム活動(絵本の読み聞かせと同時開催)	25名
お月見ナイト(再掲)	9月27日	英語教師による英語絵本の読み聞かせとお月見交流会(絵本の読み聞かせと同時開催)共催:市立科学館	39名

④ 地域との連携事業【新規事業】

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
浴衣で日本舞踊を学ぼう(再掲)	8月22日	在住外国人を対象にした浴衣着付けと、日本舞踊体験講座(和室活用事業と同時開催)	外国人9名

(2) 在住外国人支援事業

① 在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施しました。

行事名	開催日・月	内容	参加者数
日本語支援スタートアップミーティング	9月10日	日本語支援ボランティアに向けた、日本語支援についての説明と準備のためのミーティング	21名
日本語支援	前期5~8月 後期11~2月	在住外国人へのマンツーマンによる生活支援のための語学学習(前期・後期とも各ペア8回ずつの支援)	受講者と支援ボランティア:前期各4名、後期各15名

② 日本語支援プロジェクトワーク【新規事業】

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すプロジェクトワークを実施しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援（プロジェクトワーク）	1月～3月 全10回	在住外国人と日本人ボランティアによるグループによる日本語支援	6～13名

③ 日本語支援ボランティア養成

生活に必要な日本語習得を支援することを目的として、日本語支援ボランティアを養成する講座を開催しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援ボランティア養成講座	1月～2月 全5回	日本語講師による日本語支援ボランティア養成講座	16～20名

④ 外国人等相談対応

外国人からの国際交流や生活相談など各種相談に対応しました。

（外国人来客・電話・メール相談 39件）

⑤ 外国人相談事業【新規事業】

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人住民のための一日無料相談会&研修会①（再掲）	11月8日	就労・起業・在留資格等をテーマにした相談会と研修会（在住外国人のための生活情報勉強会と同時開催）	外国人19名
外国人住民のための一日無料相談会&研修会②（再掲）	2月14日	子育てをテーマにした相談会と研修会（在住外国人のための生活情報勉強会と同時開催）	外国人8名

⑥ 災害時等外国人対応研修会

災害時などにおける在住外国人の避難行動等を支援することを目的とした研修会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
消防局多言語対応訓練	6月2・3日	外国人から要救助の電話を想定した3者通訳対応訓練（場所：市消防局）	外国人3名
災害時における外国人対応セミナー	12月20日	災害時における在住外国人への必要な情報伝達についての講演とワークショップ（オンライン）	54名（うち外国人7名）

⑦ 災害時通訳ボランティアの登録・育成事業【新規事業】

災害時に多言語での情報発信や、在住外国人の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会と登録会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
災害時外国人多言語支援ボランティア登録説明会	12月12日	災害時における在住外国人の避難行動等を支援することを目的とした通訳ボランティアの登録説明会	23名(ボランティア登録者15名)

⑧ 多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる言語別の交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ベトナム語おしゃべり会	6月14日	ベトナム語による日本文化や日本での生活について話し合う交流会(オンライン)	ベトナム人12名
中国語おしゃべり会	10月31日	中国語による日本文化などのテーマについて話し合う交流会	28名(中国人13名・日本人15名)

⑨ テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、テーマ別の交流会を開催しました。

行事名	開催日・月	内容	参加者数
多様性を尊重したまちづくり	10月～1月 全4回	鹿児島県の在住外国人の概要や多様性についてのワークショップ等 共催：NPO法人若者・留学生サポートステーション響	延べ68名
日本語支援についての意見交換会	2月5・26日	日本語支援の受講経験がある在住外国人との、日本語支援をテーマとした意見交換会	延べ13名(うち外国人4名)

○ その他

行事名	開催日	内容	参加者数
在住外国人未来デザインミーティング	3月13日	市の次期総合計画の策定に向け、在住外国人等から基本構想に対する意見を聴取するためのミーティング	外国人25名

5 鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業

利用者が安全かつ快適に利用できるよう、指定管理制度に基づき、鹿児島市国際交流センターの維持管理及び運営を適切に行いました。

また、市民の平等利用及び市民サービスの向上に努め研修室等の貸出しを行うとともに、センターを活用して財団の定款に定める事業を実施することにより市民による国際交流事業等の促進を図りました。

令和2年度鹿児島市国際交流センター利用実績（人、件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1,600	993	2,186	1,940	2,490	2,736	5,172	4,574	3,655	3,149	4,363	5,369	38,227
施設貸出件数	6	13	33	27	40	66	100	114	73	68	90	117	747
登録団体利用	2	7	15	6	11	17	21	19	16	9	16	14	153

※登録団体 23団体（令和3年3月31日現在）

< 部屋別内訳 >

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多目的ホール			10	5	10	15	21	18	13	10	16	20	138
研修室1	3	9	10	13	12	25	32	31	19	23	24	28	229
研修室2	1	1	9	5	7	17	28	28	22	22	25	26	191
調理室				2	4	3	2	17	4	2	5	13	52
和室	2	2	4	2	7	6	17	15	14	11	18	25	123
屋上テラス		1						5	1		2	5	14

6 利用者サービス事業

鹿児島市国際交流センター利用者の利便性の向上を図るため、館内に自動販売機を設置しました。

Ⅲ 組織運営状況

1 理事会・評議員会開催

令和2年度に開催した会議の議決事項等は、次のとおりです。

(1) 理事会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和2年5月14日 (決議の省略)	[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和2年度第1回評議員会の招集の件
第2回	令和2年6月1日 (出席者 13名中12名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団常務理事選任の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事務局長任命承認の件 第4号 令和元年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第5号 令和元年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第6号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和2年度第2回評議員会の招集の件
第3回	令和2年6月16日 (決議の省略)	[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団常務理事選任の件 第3号 令和2年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第1号)の件 第4号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和2年度第3回評議員会の招集の件
第4回	令和2年7月16日 (決議の省略)	[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和2年度第4回評議員会の招集の件
第5回	令和2年11月20日 (決議の省略)	[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員給与規程一部改正の件
第6回	令和3年3月19日 (出席者 13名中10名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 令和2年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第2号)の件 第2号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 第3号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件

		<p>第4号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件</p> <p>第5号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員就業規則一部改正の件</p> <p>第6号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和2年度第5回評議員会の招集の件</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 評議員会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和2年5月21日 (決議の省略)	<p>[報告事項] 理事長の辞任について</p> <p>[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員選任の件</p>
第2回	令和2年6月16日 (出席者 12名中 9名)	<p>[報告事項] 理事長及び常務理事選任の件</p> <p>[議決事項] 第1号 令和元年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第2号 令和元年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事選任の件 第4号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員選任の件 第5号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件</p>
第3回	令和2年6月30日 (報告の省略)	<p>[報告事項] ① 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長選任の件 ② 公益財団法人鹿児島市国際交流財団常務理事選任の件 ③ 令和2年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第1号)の件</p>
第4回	令和2年7月30日 (決議の省略)	<p>[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員選任の件</p>
第5回	令和3年3月31日 (報告の省略)	<p>[報告事項] ① 令和2年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第2号)の件 ② 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 ③ 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件 ④ 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件</p>

2 賛助会員(各年度3月31日現在)

(人、団体)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
個人会員数	817	803	880	902	748
団体会員数	43	45	45	47	48

3 役員・評議員(令和3年3月31日現在)

(1) 役員(定款第29条に基づく理事・監事)

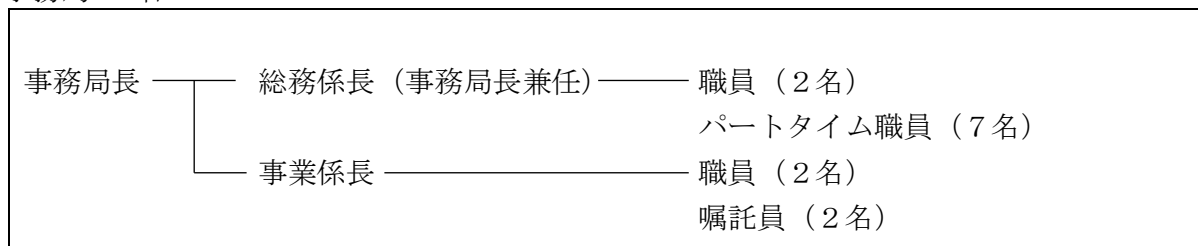
役職名	氏名	備考
理事長 (常務理事)	中 菌 正 人	公益財団法人鹿児島市国際交流財団(業務執行理事)
理 事	門 田 晶 子	鹿児島日米協会副会長
〃	手 嶋 道 男	鹿児島外語学院SGG代表
〃	三 島 盛 武	鹿児島県マレーシア友好協会副会長
〃	南 徹	鹿児島iBS国際懇話会会長
〃	弓 場 秋 信	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長
〃	内 山 修 一	鹿児島大学学生部長
〃	圖 師 俊 彦	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事
〃	飯 田 伸 二	鹿児島国際大学副学長
〃	原 田 茂 樹	株式会社南日本新聞社事業本部長
〃	宮 之 原 賢	鹿児島市総務局市長室長
監 事	上 山 寛	上山寛税理士事務所
〃	牧 野 謙 二	鹿児島市会計管理者

(2) 評議員(定款第14条に基づく評議員)

役職名	氏名	備考
評議員	今 村 進 一	鹿児島ライオンズクラブ代表
〃	志 賀 玲 子	志學館大学法学部教授
〃	永 田 福 一	鹿児島県中小企業団体中央会専務理事兼事務局長
〃	久 永 修 平	鹿児島県経営者協会常任理事
〃	ネバラ・ジェア・ジョン・バッド	鹿児島大学教育センター教授
〃	久 保 誠	鹿児島商工会議所理事・事務局長
〃	住 吉 大 輔	株式会社南日本放送報道局ウェザーセンター長
〃	鎌 田 敬	鹿児島市日中友好協会会長
〃	西 野 友季子	天文館ホテル協議会会長
〃	市 坪 孝 志	鹿児島ロータリークラブ会長
〃	東 康 弘	鹿児島県経済農業協同組合連合会代表理事専務
〃	松 枝 岩 根	鹿児島市総務局長

4 事務局体制(令和3年3月31日現在)

事務局 15名



IV 附属明細書の作成について

上記の事業報告書について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和2年度事業報告の附属明細書は作成しておりません。

I 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,778,992	5,416,650	11,362,342
未収金	507,426	0	507,426
前払金	0	57,409	△ 57,409
貯蔵品	64,375	76,599	△ 12,224
流動資産合計	17,350,793	5,550,658	11,800,135
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
積立預金	3,090,900	2,267,040	823,860
特定資産合計	3,090,900	2,267,040	823,860
(3) その他固定資産			
車両運搬具	858,000	0	858,000
預託金	9,100	0	9,100
その他固定資産合計	867,100	0	867,100
固定資産合計	6,958,000	5,267,040	1,690,960
資産合計	24,308,793	10,817,698	13,491,095
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,754,930	2,149,100	9,605,830
前受会費	2,000	0	2,000
預り金	99,048	78,695	20,353
流動負債合計	11,855,978	2,227,795	9,628,183
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,090,900	2,267,040	823,860
固定負債合計	3,090,900	2,267,040	823,860
負債合計	14,946,878	4,494,835	10,452,043
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	6,361,915	3,322,863	3,039,052
正味財産合計	9,361,915	6,322,863	3,039,052
負債及び正味財産合計	24,308,793	10,817,698	13,491,095

II 正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	301	300	1
基本財産受取利息	301	300	1
特定資産運用益	22	16	6
特定資産受取利息	22	16	6
受取会費	1,091,000	1,311,000	△ 220,000
賛助会員受取会費	1,091,000	1,311,000	△ 220,000
事業収益	392,295	320,000	72,295
事業収益	320,600	320,000	600
収益事業収益	71,695	0	71,695
受託事業収益	65,538,229	0	65,538,229
受託事業収益	96,665	0	96,665
指定管理受託事業収益	65,441,564	0	65,441,564
受取補助金等	0	5,400,000	△ 5,400,000
受取地方公共団体補助金	0	5,400,000	△ 5,400,000
受取負担金	1,980,000	40,367,000	△ 38,387,000
受取負担金	1,980,000	0	1,980,000
受取地方公共団体負担金	0	40,367,000	△ 40,367,000
雑収益	5,846	241	5,605
受取利息	146	241	△ 95
雑収益	5,700	0	5,700
経常収益計	69,007,693	47,398,557	21,609,136
(2) 経常費用			
事業費	54,883,654	39,291,739	15,591,915
役員報酬	1,693,182	1,655,638	37,544
給料手当	30,859,160	22,676,803	8,182,357
退職給付費用	823,860	514,560	309,300
福利厚生費	4,673,134	3,747,374	925,760
旅費交通費	48,906	58,886	△ 9,980
通信運搬費	395,110	294,962	100,148
減価償却費	257,400	0	257,400
消耗什器備品費	53,600	0	53,600
消耗品費	1,090,017	1,115,618	△ 25,601
印刷製本費	516,930	809,699	△ 292,769
光熱水料費	1,335,295	468,878	868,417
使用料・賃借料	346,029	1,308,648	△ 962,619
保険料	138,866	134,516	4,350
租税公課	20,430	0	20,430
手数料	95,065	45,901	49,164
報償費	988,430	404,666	583,764
負担金・補助金	2,450,635	244,230	2,206,405
委託費	9,097,605	5,813,360	3,284,245
管理費	10,992,663	8,343,533	2,649,130
役員報酬	2,789,772	2,773,456	16,316
給料手当	2,658,003	1,866,495	791,508
福利厚生費	857,732	754,792	102,940
会議費	10,951	2,600	8,351
旅費交通費	15,828	10,000	5,828
通信運搬費	417,131	188,766	228,365
減価償却費	28,600	0	28,600
消耗什器備品費	317,036	0	317,036
消耗品費	392,248	158,719	233,529
修繕費	500	0	500
印刷製本費	643,005	768,158	△ 125,153
光熱水料費	147,206	51,874	95,332
使用料・賃借料	993,959	1,110,691	△ 116,732
保険料	89,354	0	89,354
租税公課	26,270	21,600	4,670
手数料	340,120	626,382	△ 286,262
負担金・補助金	344,127	10,000	334,127
委託費	920,821	0	920,821
経常費用計	65,876,317	47,635,272	18,241,045
評価損益等調整前当期経常増減額	3,131,376	△ 236,715	3,368,091
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,131,376	△ 236,715	3,368,091

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度人件費	92,324	0	92,324
経常外費用計	92,324	0	92,324
当期経常外増減額	△ 92,324	0	△ 92,324
当期一般正味財産増減額	3,039,052	△ 236,715	3,275,767
一般正味財産期首残高	3,322,863	3,559,578	△ 236,715
一般正味財産期末残高	6,361,915	3,322,863	3,039,052
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	9,361,915	6,322,863	3,039,052

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	301	0	0	301
基本財産受取利息	301	0	0	301
特定資産運用益	22	0	0	22
特定資産受取利息	22	0	0	22
受取会費	1,091,000	0	0	1,091,000
賛助会員受取会費	1,091,000	0	0	1,091,000
事業収益	320,600	71,695	0	392,295
事業収益	320,600	0	0	320,600
収益事業収益	0	71,695	0	71,695
受託事業収益	53,361,773	0	12,176,456	65,538,229
受託事業収益	96,665	0	0	96,665
指定管理受託事業収益	53,265,108	0	12,176,456	65,441,564
受取補助金等	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0
受取負担金	1,980,000	0	0	1,980,000
受取負担金	1,980,000	0	0	1,980,000
受取地方公共団体負担金	0	0	0	0
雑収益	5,116	0	730	5,846
受取利息	146	0	0	146
雑収益	4,970	0	730	5,700
経常収益計	56,758,812	71,695	12,177,186	69,007,693
(2) 経常費用				
事業費	54,862,512	21,142	0	54,883,654
役員報酬	1,693,182	0	0	1,693,182
給料手当	30,859,160	0	0	30,859,160
退職給付費用	823,860	0	0	823,860
福利厚生費	4,673,134	0	0	4,673,134
旅費交通費	48,906	0	0	48,906
通信運搬費	395,110	0	0	395,110
減価償却費	257,400	0	0	257,400
消耗什器備品費	53,600	0	0	53,600
消耗品費	1,090,017	0	0	1,090,017
印刷製本費	516,930	0	0	516,930
光熱水料費	1,324,886	10,409	0	1,335,295
使用料・賃借料	337,716	8,313	0	346,029
保険料	138,866	0	0	138,866
租税公課	20,430	0	0	20,430
手数料	92,645	2,420	0	95,065
報償費	988,430	0	0	988,430
負担金・補助金	2,450,635	0	0	2,450,635
委託費	9,097,605	0	0	9,097,605
管理費	0	0	10,992,663	10,992,663
役員報酬	0	0	2,789,772	2,789,772
給料手当	0	0	2,658,003	2,658,003
福利厚生費	0	0	857,732	857,732
会議費	0	0	10,951	10,951
旅費交通費	0	0	15,828	15,828
通信運搬費	0	0	417,131	417,131
減価償却費	0	0	28,600	28,600
消耗什器備品費	0	0	317,036	317,036
消耗品費	0	0	392,248	392,248
修繕費	0	0	500	500
印刷製本費	0	0	643,005	643,005
光熱水料費	0	0	147,206	147,206
使用料・賃借料	0	0	993,959	993,959
保険料	0	0	89,354	89,354
租税公課	0	0	26,270	26,270
手数料	0	0	340,120	340,120
負担金・補助金	0	0	344,127	344,127
委託費	0	0	920,821	920,821
経常費用計	54,862,512	21,142	10,992,663	65,876,317
評価損益等調整前当期経常増減額	1,896,300	50,553	1,184,523	3,131,376
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	1,896,300	50,553	1,184,523	3,131,376

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
過年度人件費	85,527	0	6,797	92,324
経常外費用計	85,527	0	6,797	92,324
当期経常外増減額	△ 85,527	0	△ 6,797	△ 92,324
他会計振替額	23,159	△ 23,159	0	0
当期一般正味財産増減額	1,833,932	27,394	1,177,726	3,039,052
一般正味財産期首残高	△ 97,658	0	3,420,521	3,322,863
一般正味財産期末残高	1,736,274	27,394	4,598,247	6,361,915
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	4,736,274	27,394	4,598,247	9,361,915

IV 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(2) 退職給付引当金の計上基準

職員の退職給付に備えて、退職金手当支給規程による要支給額に基づき計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

(4) 貯蔵品の評価方法

貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
小計	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
特定資産				
退職給付引当資産	2,267,040 円	823,860 円	0 円	3,090,900 円
小計	2,267,040 円	823,860 円	0 円	3,090,900 円
合計	5,267,040 円	823,860 円	0 円	6,090,900 円

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
小計	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
特定資産				
退職給付 引当資産	3,090,900 円	0 円	0 円	3,090,900 円
小計	3,090,900 円	0 円	0 円	3,090,900 円
合計	6,090,900 円	3,000,000 円	0 円	3,090,900 円

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価格、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	取得金額	当年度減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,144,000 円	286,000 円	286,000 円	858,000 円
合計	1,144,000 円	286,000 円	286,000 円	858,000 円

V 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

科目	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
計	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
特定資産				
退職給付引当資産	2,267,040 円	823,860 円	0 円	3,090,900 円
計	2,267,040 円	823,860 円	0 円	3,090,900 円

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,267,040 円	823,860 円	0	0	3,090,900 円

VI 財産目録
令和3年3月31日現在

(単位:円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	小口現金	13,218	
		当座預金 ゆうちょ・166520	会費納入	2,440,500	
		普通預金 鹿銀上町・3010312	運転資金	14,256,861	
		鹿銀上町・3030354	会費納入	63,961	
	定期預金 鹿銀上町・4008328	基本財産受取利息	4,452		
未収金		県指定管理者受取負担金等	507,426		
貯蔵品		切手、ハガキ、ラビカ代	64,375		
流動資産合計				17,350,793	
(固定資産)	基本財産	定期預金 鹿銀上町・4008328	公益目的保有財産	3,000,000	
		定期預金(指定)			
	特定資産	積立預金 積立預金(一般)	普通預金 鹿銀上町・3013719	退職給付引当金	3,090,900
		その他固定資産	車両運搬具	自家用軽自動車1台	858,000
	預託金	リサイクル費用	上記車両運搬具処分時まで保有するもの	9,100	
固定資産合計				6,958,000	
資産合計				24,308,793	
(流動負債)	未払金		公益目的事業及び管理業務に供する業者未払い分、鹿児島市への委託料等返金分	11,754,930	
			R3年度会費納入	2,000	
	前受会費 預り金	雇用保険	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の雇用保険	91,848	
		中小企業勤労者福祉サービスセンター	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の中小企業勤労福祉サービスセンター会費	7,200	
流動負債合計				11,855,978	
(固定負債)	退職給付引当金			3,090,900	
固定負債合計				3,090,900	
負債合計				14,946,878	
正味財産				9,361,915	


監査報告書

令和3年5月27日

公益財団法人鹿児島市国際交流財団
理事長 中 菌 正 人 殿

公益財団法人鹿児島市国際交流財団

監 事 徳馬豊之 

監 事 上山寛 

私たちは、公益財団法人鹿児島市国際交流財団の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における会計及び職務執行等に関して当財団事務所において監査を行い、以下のとおり監査の結果を報告する。

1. 監査の方法及び概要

- (1) 帳簿並びに関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 理事会及びその他の会議に出席し、理事から職務の執行状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、当財団の収支状況及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書は、財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上